

# 令和7年度 第1回 地域連携推進会議 議事録

日時：令和7年10月30日（木）14：00～16：00

場所：社会福祉法人 山陰会 自然寮 相談室

## 出席者

地域連携推進構成員

委員1 行政

委員2 知見者代表

委員3 地域代表

委員4 家族代表

委員5 利用者代表

委員6 自然寮 管理者

委員7 自然寮 サービス管理責任者

委員8 自然寮 世話人

1. 開会挨拶
2. 地域連携推進会議の趣旨の説明
3. 保人情報の取り扱いに関する留意事項
4. 出席者紹介・構成員自己紹介
5. 施設訪問・説明（自然寮・こうけん）
6. 基本理念
7. 利用できるサービス
8. 施設紹介
9. 質疑応答

## 1. 開会挨拶

委員 6：「平素より、当事業所の運営にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

皆様方にはご多忙の中ご出席いただきましてありがとうございます。

ご利用者と地域との関係作りや、地域の方への施設やご利用者に関する理解の促進等を目的として、施設の外部の方を構成員とした「地域連携推進会議」を定期的で開催することが義務付けられました。当事業所も、地域の一員であることを意識しながら、地域の皆様と連携し合う関係を作ることが大切であると考えております。皆様方のご理解とご協力、地域連携推進会議についての積極的なご意見を頂ければと思っておりますので宜しくお願い致します。」

## 2. 地域連携推進会議の趣旨の説明

委員 7：「地域連携推進会議は、会議の開催や構成員による施設等への訪問を実施することにより、地域に開かれた施設等になることを目指し、障害のある方の生活に対する理解を促進するとともに、施設、職員、地域のひととの繋がりを推進する事を目的としています。」

## 3. 個人情報の取り扱いに関する留意事項

委員 7：「会議、施設訪問にご参加いただく中で、ご利用者の個人情報に触れる可能性があります。ご利用者やその家族の中には、障害がある方や、福祉施設サービスを利用している事を他者に知られたくない方もいらっしゃいます。ご利用者の権利擁護の為、地域連携推進会議で知りえたご利用者の個人情報は、外部に漏らすことがない様、よろしくお願い致します。」

## 4. 出席者紹介・自己紹介

## 5. 施設訪問・説明

### ・自然寮訪問

居室、食堂、トイレ等見て頂く。

委員 6：「食堂で毎日の検温等を帳簿に記録し体調管理をしています。

ピンクの優しい色を使っていて、トイレもピンクで統一しています。

居室も 1 人部屋になっています。」

全員：「部屋も広くていいですね」「なるほど、体調管理もノートに書いているのですね」

### ・こうけん訪問

居室、食堂、トイレ等見て頂く。

委員 6：「こうけんは、女性専用です。全室バリアフリーにしています。こだわりは、

廊下が明るくなるように天井から光が入るように作っているんですよ」

全員：「明るくていいですね。部屋も綺麗で広いんですね。」

委員 8：「トイレは二つあり、一つは広くして車椅子も入れます。夜間は転倒防止として電

気をつけたままにしています。」

委員 1：「夜間は誰か職員はいますか？」

委員 8：「いえ、朝 6 時から 20 時までしか世話人・生活支援員はいませんが、宿直専門員が 22 時と 24 時に巡視を行っています。」

委員 1：「それなら安心ですね。台所もあるのでここで食事をされるんですね。」

委員 8：「はい。ご自分で出来るところはして頂き、できないところを支援しています。」

## 6. 基本理念

委員 7：「基本理念といたしまして、人間的成長と発達を保障し、基本的人権と個人としての尊厳と誇りを尊重し、障害の有無に関わらずその人らしい充実した地域活動が送れるように様々な場を提供します。選択性の充実を図り、自己主張と自己決定を尊重した支援を行います。社会自立の促進等を行い、地域生活を支援します。」

## 7. 利用できるサービス

委員 7：「自然寮、こうけんの 2 つのグループホームがあります。

地域で生活を共に営むことができる障害を持たれた方の日常生活の援助及び相談、夜間の巡視を行います。

短期入所（自然寮）では、自宅で介護を行っている方が、疾病その他の理由によ

り施設への短期入所を必要とする障がいのあるかたに短期入所してもらい、入浴、排泄、食事等の他、必要な介護的支援を行います。

相談支援事業（ライフサポートじねん）では、地域の中で、障害を持つ方、その家族からの相談に対して様々な関係機関と連携しながらサービス等の紹介、訪問支援を行います。」

## 8. 施設紹介

委員 7：「グループホームを紹介します。

自然寮定員 10 名、入居者 9 名（男性 6 名、女性 3 名）24 時間体制。

一般就労（2 名）、就労継続支援 B 型（5 名）、生活介護（2 名）の男女共同のグループホームです。

こうけん定員 6 名、入居者 5 名。全室バリアフリーであり、女性専用グループホームです。一般就労（4 名）、就労継続支援 A 型（1 名）です。

休日等は、地域のふれあいで深江町行事（市民清掃、ペタンク大会、文化祭等）に参加され「誰々さんとしゃべったよ。自分の名前を知ってたよ。またおいでといわれた。」など喜んで話してくれます。また、深江図書館を利用したり、町内での買物、公共交通機関を利用し島原買物や外食など、各自好きな事を楽しまれています。今後、町内の行事などありましたら、参加させていただきたいので、ぜひお誘い下さい。」

委員 6：「島原買物は、自分で生活していくため、自分達で行動するようになっていきます。DVD やゲームを買ったりしてるようですね。お金があると物が買える。携帯電話も自分で管理できる人が使える。しかし、お金をあるだけ使う人もいるんですよ。職場の自販機でジュースをたくさん買って使ってしまったたり。だからルールを決めて、自分で管理できるように支援をしています。」

委員 3：「そうですか、ルールを決めて、自分で管理できている。えらいですね」

委員 6：「その他にも、地域活動も参加しています。

地域活動は以前は生け花、踊りなんかを習ったりもしてましたね。

人気があるのは歌、ゲームでしょうか。市民清掃やペタンク、産業祭には参加したり協力して、皆さんそれぞれ楽しまれています。視野が狭いのでいろんな体験をしてもらいたいと思っているんです。そして個人の誇り、プライドをもってもらいたいですね。そして各グループホーム高齢者がいますから安否確認として電話連絡や夜間の巡回をしています。」

## 9. 質疑応答

委員 7：「では、質疑応答に入ります。何か質問があるかたいらっしゃいますか？」

委員 3：「ゲームをされるとの事ですが、依存はされませんか？」

委員 7：「ないですね。夕食後、掃除をして余暇時間に時間を決めてますので、自分で時間が来たら止めてます。」

委員 3：「えらいですね。」

委員 6：「昔は酒を飲む人がいて困りました。夜飲むなど言えば朝飲んだり。

でも、それを反省してルールを決めて、人に迷惑をかけなければ

いいのかなと思います。それが社会勉強になりますから。そして

そんなときに皆さんに相談したいわけです。ご協力いただきたいのです。」

委員 1：「今日は施設も見学させていただいて良かったです。普段高齢者施設しか見たことが無かったので勉強になりました。皆さんがルールのもとに生活されていることがわかりました。」

委員 2：「施設も明るくて、僕が入りたいくらいです。お尋ねですが、利用者さんに声掛けしてもいいのでしょうか？上がってお茶でもとお誘いしてもいいのでしょうか？」

委員 6：「そうですね、有り難いのですが、利用者さんの中には、本音と建て前が理解できない方がいて、そうすると、どこのお宅にも上がって良いと思ってしまう場合があるので、ここだけ特別だよと教えて欲しいですね。声を掛けて頂けるのはとてもありがたいです。」

委員 2：「わかりました。本音たてまえを配慮したいと思います。

こちらは虐待などの研修はありますか？」

委員 7：「あります。何か虐待を疑われることがあれば一般就労先にも連絡をし、確認もしています。」

委員 2：「逆に、利用者さんからの虐待されることはありますか？」

委員 7：「あります。その時は利用者との距離を取り、見守りながら利用者は外に出る等して気分転換をしています。」

委員 2：「私も杖で叩かれたり、ねずまれたり利用者さんからされます。

しかしその背景には、職員からハラスメントをされ、それがストレスになり

利用者さんが暴力行為をしてしまうという傾向にあるようです。」

委員 6：「法人、施設でも虐待研修を義務付けられており対応をしています。

利用者家族から職員に対して言ってくる場合もあるんですよ。

施設側も職員を守らなければならないのですが、正義と正義がぶつかるわけですから、とても難しい問題なんすですよ。世の中では職員からの虐待やその逆もあり、結論がでない難しい問題ですね。」

委員 2：「ちょっとしたことでも虐待にとられる。例えば職員がわかるように拘束センサーを置くのは虐待で、利用者さんが危なくないようにとのことで置くのは虐待ではないそうです。難しいです。もし研修等される時は声を掛けて下さい。一緒をお願いしたいです。」

委員 4：「昔は言うことを聞かないから、悪い事をするから押さえつけたり叩いたり。そんな感じで何も言われなかったが。」

委員 2：「言われることは分かるが、暴力はいけません。」

委員 4：「わかるが、なにかにつけてハラスメントといわれますね。」

委員 6：「熱心な人ほど注意が必要です。気持ちが入り過ぎてますからね。」

委員 2：「とにかく利用者さん主体で考えて行動しなければいけないということなんです。」

全員：「そうですね。」

委員 6：「今日は、地域の方の貴重なご意見が聞けて本当に良かったです。」

何かありましたらご協力をお願いしたいと思いますので  
よろしくをお願いします。

また来年も宜しく申し上げます。本日はありがとうございました。」

以上